

寄付いただきました

TOYO TIRE(株)から、寄付金をいただきました。(7月22日)
寄付金は千年希望の丘の維持管理に活用されます。ありがとうございました。



▲TOYO TIRE(株)仙台工場桜井幸信工場長(中央)、TOYO TIRE労働組合東北支部山下仁一支部長(右)

熱中症予防啓発イベント

フーズガーデン玉浦食彩館で、熱中症予防啓発イベントが開催され、ミニセミナーでは、水分補給の大切さなどの話がありました。

ミニセミナー終了後には、「飲み物や「いわぬまクーリングシエルトーマップ」などを買い物客に配布しました。(7月30日)



▲熱中症予防について学びました



総合防災訓練

全国各地で相次ぐ地震被害などを踏まえ、活断層の長町ー利府線断層帯で大地震が発生した想定で、総合防災訓練が実施されました。(7月7日)

当日は、市内全域に緊急情報の発信を行い、市民の皆さんに安全行動をとることを呼びかけ、その後、市内全ての小・中学校で避難所開設・運営訓練を行い、参加者が備蓄品や資機材などの確認、パティションの設置などを行いました。

岩沼中学校では、簡易トイレの設置訓練を行いました。凝固剤を使用し、し尿を袋詰めにする手順を確認しました。
引き続き、防災の重要性を周知していくとともに、地域防災力の向上に取り組んでいきます。



▲岩沼中学校での訓練の様子



市内建設業者が地域に貢献

市内の建設業者12社で構成する(一社)岩沼建設産業同友会が市内小学校でボランティア活動を行いました。

学校施設的环境整備を目的に小学校と中学校で交互に毎年実施していて、今年で15回目となりました。

市役所での出発式で渡邊大作会長は「我々の活動が子どもたちにとって何かを学ぶきっかけとなってもらえればうれしい。今後は児童・生徒とも一緒に汗を流し、コミュニケーションを取りながら活動をしていきたい」と話しました。

～スクールボランティア～



▲▶除草作業、整地作業(玉浦小)



出発式の後、各学校の要望を踏まえ、建設業ならではの技術や資機材を使ったボランティア活動が行われました。

玉浦小学校ではプール周辺の除草作業と駐車場の整地作業に当たっていただきました。

(7月17日)



▶同友会の会長を務める(株)渡辺サービスセンター渡邊大作代表取締役



バンコクFCが来日 ～岩沼にまた来タイ～

協定締結・委嘱状交付

交流人口、関係人口の拡大などによる地域活性化を目的とし、大久保剛志選手が代表を務める(株)G40との包括連携協定を締結するとともに、大久保選手へいわぬま大使の委嘱状を交付しました。(7月29日)



▲大久保剛志選手(右)

表敬訪問

タイのサッカークラブ「バンコクFC」がトレーニングキャンプの実施を報告するため、市長を表敬訪問しました。

岩沼市出身でプロサッカー選手である大久保剛志選手は「今年から2部リーグに上がり、胸が高まる気持ちで日本に来ました。リーグ開幕前に素晴らしい時間を過ごして良いスタートを切れるように頑張ります」と話しました。(7月30日)



▲バンコクFCの選手・スタッフ・名取高校・宮城県農業高校の皆さん

トレーニングキャンプ

市陸上競技場でバンコクFCのトレーニングキャンプが行われました。炎天下の中で、選手たちは互いに声を掛け合いながら厳しいトレーニングに励みました。

選手は「たくさんの方の協力のおかげで良い時間を過ごせている」「最初はリラックスした雰囲気での練習していたが、最後には激しい練習ができた」と話しました。(7月31日)



▲タイのリーグ開幕に向けて調整しました

ベガルタ仙台と親善試合

トレーニングキャンプ最終日に、ユアテックスタジアム仙台でベガルタ仙台と親善試合が行われ、バンコクFCが1対0で勝利しました。

この試合には約3,300人の観客が集まり、両チームの選手たちに熱い声援が送られました。(8月4日)



▲声援に応える選手たち

タイを身近に～岩沼タイフェア～

バンコクFCのトレーニングキャンプに合わせて「岩沼タイフェア」が開催されました。

フェア期間中は、市民や近隣市町の方にタイを身近に感じてもらうため、市内の飲食店や小売店計23店舗で本格的なタイ料理やタイをイメージした創作料理などが提供されました。(7月29日～8月12日)

フェア初日の7月29日には、大久保剛志選手を招いてタイ料理の試食会が行われ、本格的なタイ料理を堪能しました。



▲大久保選手(左から2人目)にタイでの生活の様子や、日本とタイの文化の違いを聞きました

▼市役所にのぼりを立てました

